



会長あいさつ

山形県在宅保健活動者連絡協議会（いつわ会） 会長 吉田 美智子

会員皆さまの御支援・御協力のおかげで、今年度の予定をほぼ終了することができました。心より感謝申し上げます。

さて、コロナ禍前の事業に戻りつつある中、昨年11月「都道府県在宅保健師等会全国連絡会」が、6年ぶりに東京で開催され出席させていただきました。

山形県は全国38の都府県に設置されている会の中で257名と全国一会員数が多く、また5職種が連携して会を運営している県は少数であり、会員の御協力で運営できていることに改めて感謝しています。どこの会も悩みは会員の高齢化・入会者の減少などで、今後のいつわ会運営を考える良い機会となりました。

昨年12月には秋田県担当で、東北地方の皆さんと情報交換する「東北地方在宅保健師等会連絡会議」がWebで開催されました。各県各々のやり方で活動を実施していますが、参考になる話をたくさん伺うことができました。全国及び東北地方の連絡会議の内容は、この会報に掲載しておりますので御覧ください。

今年度いつわ会としては、会員の皆さんが期待して入会していただいていることに応えられる研修の実施とともに、5職種が連携して社会貢献できる事業を行っていきたく思います。今後とも、会員皆さんの御意見を伺いながら事業を進めてまいりますので、ぜひ御意見をお寄せください。また、お知り合いの方にお声をかけていただく等、新会員の入会にも御協力をよろしく願います。

令和7年度事業（中間報告）

令和8年1月現在

事業名	日時	内容
役員会	令和7年 4月 11日 令和7年 6月 9日 令和7年12月 4日	3回開催(12月は書面協議)
いつわ会全体研修会	令和7年 7月 7日	講演、情報提供
いつわ会ブロック研修会	令和7年 9～10月	詳細は本誌2～3頁参照
特定保健指導従事者研修会	令和7年11月 6日	保険者協議会主催の研修会にWebで参加(11名)
令和7年度東北地方在宅保健師等会連絡会議	令和7年12月 4日	開催県:秋田県 Web会議 山形県から11名参加 詳細は本誌5頁参照
会報発行(第45・46号)	令和7年 8月 令和8年 3月	いつわ会全体研修会等 ブロック研修会等
救護協力	令和7年 5月～ 令和8年 1月	運動・スポーツ大会の救護・応急処置 (延べ55名協力)
会員活動アンケート調査	令和8年 3月	

令和
7年度

いつわ会ブロック研修会

村山ブロック

- とき 令和7年9月11日(木)
- ところ 山形県国保会館(寒河江市)
- 参集者 23名



1 活動紹介

「いきいき百歳体操・サロン活動を 実施して」

前いつわ会会長 水上 由美子 氏

アンケートから

- 地域の活動に役立てることが出来る。
- 住民主導でいきいきと活動されている様子がとても印象的でした。参加者が集まらない課題は、どこも抱えている難しい点だと思った。
- 地区の「いきいきサロン」がどのように実施されているのかわからなかったが、高齢者主体に工夫して各団体が行っていると想像できました。元気な笑顔が見えるようです。
- サロン活動に実際参加、お手伝いしているので大変参考になりました。
- いきいきサロンの役員になる方がいなくて大変。役員の研修も必要と思われる。



2 講話

「健幸に過ごすために ～オーラルフレイルを予防しよう～」

県歯科衛生士会 飯田 陽子 氏

アンケートから

- 実技も交えてくださりこれからの口腔ケアに使いたい。
- 初めて咀嚼ガムを体験しました。うがいの仕方とても参考になりました。
- オーラルフレイルの具体的な話を初めてお聞きしました。とても参考になりました。
- 身近な歯のお話で楽しく学びました。サロン等で伝えられそうな気がしました。
- あらためて口腔ケアが健康(筋力増加)の基本と感じました。
- 咀嚼力判定ガムを用いて噛む力を視覚で見れたのは良かったです。とても分かりやすい説明で参考になりました。暫くぶりに「歯のお話」が聞けて、また貴重な体験が色々できて良かったです。ありがとうございました。ぜひ実践したいと思います。



最上ブロック

- とき 令和7年9月5日(金)
- ところ 新庄市民プラザ(新庄市)
- 参集者 14名



〈災害支援活動紹介〉

1 「山形県栄養士会災害支援チーム活動 について～JDA-DAT山形の活動～」

(公社)山形県栄養士会 会長 柿崎 明美 氏

アンケートから

- JDA-DATの存在を初めて知りました(栄養士の働きのこと)。食は命です。活動に感謝します。医師、看護師だけでなく栄養士の活躍をもっとみんなに知って欲しいです。
- 栄養は生命だけでなく心も強くします。詳しく拝聴できてよかったです。
- 実際の支援の流れや支援状況を聞くことが出来てとても良かったです。また、栄養士会の具体的な取り組みも知ることが出来て良かったです。
- 栄養指導というよりは、人としての関わりが大事と言っていたことが印象的でした。特に災害時は不安なことが多いと思うので、それぞれの役割分担をしながらもこの基本的なことを忘れないで取り組みれば良いなと思った。



2 「災害ボランティアセンター運営を 実践して～令和6年7月豪雨災害～」

戸沢村社会福祉協議会 事務局長 八鍬 真生 氏

アンケートから

- キントーンアプリ(サイボウズが提供するクラウドサービス)で訪問した家を地図に載せることができるを知った。ボランティアの方々の活動に感謝します。自分にも何かできるかもと研修を通して災害のことを具体的に身をもって学びました。
- 住民の気持ちを大事にしているなと思うお話でした。住民の中でもボランティアできる状況にある人が、どう動けばよいのかが日ごろから分かるマンパワーになるなあと感じました。普段から一歩を踏み出せるような自分の準備も必要と思いました。
- いろんな人との関わりで前向きになれる。被災者も担当者も。備えが本当に大切。物品はもちろんだが、人、頼れる協力してくれる関係機関。平時からの関わり大切さを感じた。



置賜ブロック

- とき 令和7年9月17日(水)
ところ えくぼプラザ(南陽市)
参集者 21名



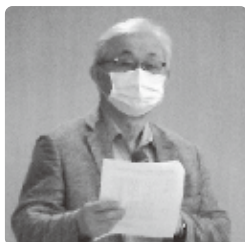
1 講演

「ロコモと高齢者に多い整形外科的疾患」

みゆき整形外科クリニック 院長 齋藤 聡 氏

アンケートから

- 今日、参加したかったのに来れなかった方々に教えてあげたいと思います。
- あらためて老を生きる知恵の再確認ができました。
- 知らない知識ばかりで勉強になった。
- 軽快な語り口で楽しくお聞きしました。とても参考になりました。
- 骨粗鬆症についてはとても関心がありました。とてもわかりやすいお話でありがとうございました。
- 加齢に抗っても無駄ということが分かった。薬や手術療法があるということは参考になった。



2 実技指導

「じっくりロコトレ&チャレンジ体操」

健康運動指導士 梅津 順子 氏

アンケートから

- リズムを入れて体を動かすことを学べて良かった。
- 日常生活に取り入れやすく分かりやすかったので、実践していきたいと思います。
- 運動することは、様々な効果があることが分かった。メンタル、フレイル等のために高齢者、被保険者に広めていきたい。
- 週1回百歳体操をしていますが、スクワットの効果があるのがわかり続けていきたい。
- 先生の言う皿洗いの苦手な私です。お腹と背中に力を入れて運動だと思って、今日から取り組みたい。三日坊主にならないように。



庄内ブロック

- とき 令和7年10月10日(金)
ところ 三川町子育て交流施設「テオトル」
参集者 15名



1 講演

「いのちのいとなみ ～飲み込むということ～」

鶴岡協立リハビリテーション病院
言語聴覚士 田口 充 氏

アンケートから

- 動画の画像をみせてもらいながらのお話だったので分かりやすかった。
- 介護施設でパート勤務している。日々向き合っているのでもとても参考になりました。
- 映像の入った誤嚥の状況は分かりやすかった。
- 嚥下障害に対して、自宅でも健康なうちから運動や栄養を意識していつまでも(死ぬまで)楽しく食べたいと思う。
- 生きがいにつながる食への支援ありがたいです。



2 講演

「生きるよろこび～嚥下調製食とは～」

湯野浜温泉うしお荘 支配人 延味 克士 氏

アンケートから

- 手間がかかるのに素晴らしい取り組みをされていると思います。
- 初めて食べて感動でした。
- 高齢者の方は餅が好きな方も多く、おしるこは美味しかったです。
- 鶴岡市での嚥下食提供店が7店舗あるとは知りませんでした。
- 見た目が本当の食事に見えて嚥下食には見えない。ビックリです。
- 日本全国から嚥下食を求めて家族旅行に来ているとは嬉しいですね。



お汁粉・漬物

令和7年度 都道府県 在宅保健師等会全国連絡会 報告

と き／令和7年11月25日(火)
ところ／サウスヒル永田町

コロナ感染症の影響により、令和2年度から6年度は、DVD等配布での情報提供でしたが、今回は令和元年度以来6年ぶりに東京都永田町で全国連絡会が開催されました。いつわ会吉田会長と国保連合会事務局の2名が参加しました。

会議内容

● 講演

「これからの保健師活動 ～退職保健師活躍への期待～」

厚生労働省 健康・生活衛生局健康課
保健指導室 室長 後藤 友美 氏

主な内容

- ・自治体職員数が減少している中、自治体保健師（常勤）は年々増加している状況にある。年齢階級別にみると40代の保健師数が極端に少なく、若年層の育成の部分で人手が足りないことが伺える。
- ・退職保健師は、都道府県では保健師の人材育成、市町村では保健業務に最も活用されているようだ。
- ・退職保健師の働き方、経験等に応じた役割発揮をいただければ嬉しい。

● 事例発表

「高齢者の保健事業と介護予防の 一体的実施の取組について」

香川県在宅保健師会「オリーブの会」
会長 起 弘美 氏

主な内容

- ・香川県国保連合会が実施する国保健康教室講師派遣事業の一環として、ACP（人生会議）普及啓発活動に取り組んでいる。
- ・香川県国保直診診療施設協議会の協力を得て研修を受講し、2つの教材を使用した教室を実施。
- ・内容が難しく、講話・演習のみならず、情報共有の時間を充実し、参加者間で話し合うことで、より内容を補完できるかが課題である。まずはACPの周知方法を検討し、より近くに感じ、考えてもらえるような方法の工夫が必要である。

● 活動報告

（全国在宅保健師等会前役員7名）

- 福島県在宅保健師の会「絆」
- 千葉県在宅看護職等の会
- 石川県在宅保健活動者連絡協議会「虹の会」
- 奈良県在宅保健師の会「秋篠の会」
- 山口県在宅保健師会「鈴の会」
- 高知県在宅保健活動者なでしこの会
- 長崎県在宅保健事業みつば会

会員状況や活動報告、今後の課題などの発表があった。研修や独自の事業に取り組み、活発に活動しているが、一方で「新規会員の獲得が難しい」ことが課題として挙げられていた。

● 意見交換・グループ討議

「在宅保健師等会の活動と 活動推進への支援」

主な内容

- ・役員や会長の選定が難しく、新規会員が増えないことが課題。
- ・独自の支援事業に取り組んでいるが、派遣できる人材確保が困難で、従事者が固定化している。
- ・新規会員獲得のため、色々な会議に顔を出し、会のアピールと個別アプローチも必要。
- ・保健師のみ会員の県が多いが、多職種連携を視野に、他の専門職も会員にしていくことも必要ではないか。
- ・「楽しく、ためになる」研修会の開催など、工夫が必要ではないか。
- ・自らが楽しく、無理なく活動できることが重要であり、一人ひとりが「一歩前に」という気持ちが持てれば良い。
- ・一人ではできることは限られるが、思いを共に職能をもって活動する団体は必要。
- ・連合会の支援を受けながら、まずは会を継続していくことが大事。

令和7年度 東北地方在宅保健師等会連絡会議 **報告**

と き／令和7年12月4日(木)
ところ／山形県国保会館

東北6県に新潟県を含めた7県の在宅保健師等会の連絡会議が秋田県主催で開催(Web)され、全体で81名の参加があり、山形県からは11名の会員(役員)と事務局3名が参加いたしました。

会議内容

- 各県の活動報告
- 意見交換会

主な内容

- ・今、最も力を入れている取組みと、今後力を入れていきたい取組みについて各県から報告があった。
- ・意見交換会では各県からの質問を中心に、会員確保と現役保健師等との交流、災害支援等について活発な意見交換がなされた。災害ボランティア活動については、「できることをできる範囲で自分たちの役割を果たしたい」との意見が出された。

● 講評(助言)

国民健康保険中央会
保健福祉部保健事業課 参事 山口 道子 氏

● 報告

「都道府県在宅保健師等会全国連絡会について」

- ・10月から新体制となったが、全国7ブロック幹事全員から会長、副会長を辞退され、会長、副会長が不在の状況となっている。会の存続の危機でもあり、会の在り方等を検討していく必要がある。

● 講演

「国保保健事業の動向と在宅保健師等活動の今後の展望」

国民健康保険中央会
保健福祉部保健事業課 参事 山口 道子 氏

主な内容

- ・国保保健事業の動向
- ・在宅保健師等会活動の今後の展望
- ① 令和7年度都道府県在宅保健師等会に係る調査結果
- ・38都府県に設置 3281名(令和7年8月1日現在)
- 令和5年から153名減 (山形県:256名 22名増)
- ② 世代や属性を超えて交流できる居場所の活動状況
- ・自ら実施している「暮らしの保健室」について

● 特別講演

「頼り上手は頼られ上手 ～受援力のススメ～」

神奈川県立保健福祉大学大学院
ヘルスイノベーション研究科 教授 吉田 穂波 氏
(産婦人科医師、医学博士、公衆衛生学修士)

主な内容

- ・受援力とは、助けを求め受け入れること。防災用語として始まったが、地域の紐帯形成や孤独・孤立予防、多文化共生の文脈で保健医療介護領域にも取り入れられるように。現在では生きる力、周囲とつなげるための力として再評価されている。
- ・自分の「相談する力」を可視化する
- ・受援力を阻む、内因性ファクターとは
- ・頼り上手になる3つのキーワード
①敬意「あなただから頼みたい」 ②存在承認「聞いてくれて嬉しい」 ③感謝「話ただけで楽になった」
- ・実践で活かすには：周囲の人同士、受援力を発揮しやすくする。受援力を発揮して、上手く断る。

参加しての感想

- ・近県の活動状況や活動に対する考え方が良く分かった。
- ・頼り下手な自分に気づいた。頼ることは自分が助かるだけでなく、相手の健康状態も良くなり、相手も頼りやすくなるということは新たな気づきだった。
- ・在宅保健師として今後どのように社会参加にかかわっていくことが必要か考えさせられた。



会員の状況

会員数 255名 (令和8年2月1日現在)

年齢構成 (平均年齢 69.7歳)

年齢階層別	人数
40歳未満	0
40～49歳	4
50～59歳	15
60～69歳	110
70～79歳	102
80歳以上	24
計	255

職種・地区別

	村山	最上	置賜	庄内	合計
保健師	41	17	15	26	99
助産師	14	0	1	5	20
看護師	16	8	14	36	74
准看護師	3	1	3	0	7
管理栄養士	8	5	4	5	22
栄養士	2	1	2	0	5
歯科衛生士	13	3	9	3	28
合計	97	35	48	75	255

新入会員 (令和7年入会)

	村山	最上	置賜	庄内	合計
保健師	2	4	1	0	7
助産師	1	0	1	0	2
看護師	0	1	2	3	6
管理栄養士	0	0	0	0	0
栄養士	0	0	0	0	0
歯科衛生士	0	0	0	0	0
合計	3	5	4	3	15

令和7年は15名の方が
新たに入会されました。
皆様どうぞよろしく
お願いします。

お知らせ

市町村保健事業担当者の皆さんへ!

いつわ会では、健康・栄養相談、訪問指導、その他の保健事業に保健活動者を派遣しています。健康イベント等の際、健康相談、救護等に依頼してみませんか?

また、今年度退職予定(再任用の方も含む)の方、是非いつわ会に入会をお願いします。

会員の皆様へ

次年度もいつわ会の全体研修会及びブロック研修会、山形県国保地域医療学会の開催を予定しております。皆様に御案内いたしますので、御参加をお待ちしております。

なお、会報と同封しております「会員活動アンケート」は、皆様の活動状況を把握し次年度の活動の参考となる重要な調査ですので、**3月10日(火)**までの提出を是非よろしくをお願いします。

会員募集

入会費・会費無料

あなたも楽しく活動してみませんか? 随時、新入会員を募集しています。

今までの専門職としての経験を、自分の住んでいる地域の健康づくりに役立てましょう。お知り合いの方にぜひ御紹介をお願いします。

申し込み、問い合わせは、事務局連絡先まで

事務局

〒991-0041

山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地 国保会館内
山形県国民健康保険団体連合会 事業推進課保健事業係
TEL 0237-87-8002 FAX 0237-83-3353

印刷 コロニー印刷